

新しい設備や技術の活用

新しい技術を用いてお客さまに安全・安心をお届けする

ドローン等を活用した地下鉄施設点検の実施

地下鉄駅の天井内は高所で狭く、各種配管やケーブル等が多く敷設されており、これまで人による施設点検が非常に困難でした。鉄道インフラの点検を効果的・効率的に行うため、指で持てるほど超小型で軽量のドローン（マイクロ・ドローン）を活用しており、点検員の作業環境の改善のほか、360度カメラによる全範囲撮影等により、大幅な作業効率の向上や点検精度の向上に繋がっています。さらに、屋外の高架橋においては、空撮ドローンを活用した点検の導入に向けて、実証実験等を開始しました。

また、地下トンネルの構造物点検においても、カメラ画像診断技術等を活用した新たな点検手法の確立に向けて研究を進めています。

今後も、ドローンやカメラ画像診断技術等に限らず、各種ロボットや先端技術を積極的に導入し、お客さまへ最高の安全・安心を提供し続けます。



マイクロ・ドローン



駅天井内施設点検状況



空撮ドローン実証実験



空撮ドローンで撮影した
御堂筋線（淀川橋梁）

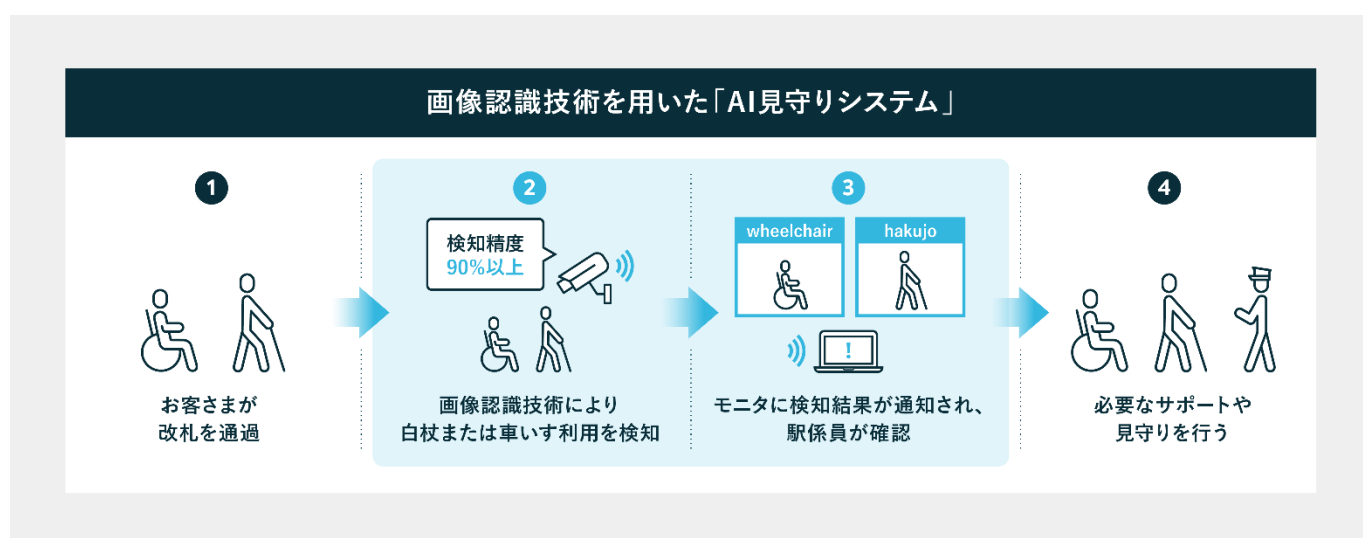
新しい設備や技術の活用

新しい技術を用いてお客さまに安全・安心をお届けする

AI 見守りシステム導入に向けた取組み

2021 年 11 月 2 日から、御堂筋線長居駅ほか 3 駅にて A I 自動検知技術を用いた「AI 見守りシステム」の導入に向けた取組みを進めており、白杖または車いすをご利用のお客さまを対象とした実証実験を行っています。本システムの導入により、駅係員が白杖または車いすをご利用のお客さまに早期に気づくことが可能になり、必要なサポートや見守りに役立てられます。

2024 年度から駅へ順次導入し、今後のさらなるお客さまサービスの向上に努めてまいります。



車両防犯カメラ映像を利用した残留検知の導入

お客さまサービスの向上並びに安全・安心にご利用頂けるように、400 系車両において車両防犯カメラの映像を利用した残留検知に関する検証を行っています。将来的には全列車で搭載する車両防犯カメラへの導入を目指していきます。（2024 年度から導入予定）

